

みずほCustomer Desk Report 2016/08/31 号(As of 2016/08/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.92 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.84	1.1190	113.95	0.9782	1.3105	0.7575
SYD-NY High	103.14	1.1192	114.93	0.9845	1.3120	0.7580
SYD-NY Low	101.76	1.1133	113.88	0.9776	1.3060	0.7500
NY 5:00 PM	102.97	1.1142	114.79	0.9839	1.3081	0.7510
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.3/14.75		△25RR	0.138	Yen Put Over	
NY DOW	18,454.30	▲ 48.69	債券市場	日本2年債	-0.1970	▲1.6bp
NASDAQ	5,222.99	▲ 9.34		日本10年債	-0.0750	▲1.2bp
S&P	2,176.12	▲ 4.26		米国2年債	0.7973	▲0.8bp
日経平均	16,725.36	▲ 12.13		米国5年債	1.1766	0.8bp
TOPIX	1,312.81	▲ 0.43		米国10年債	1.5663	0.7bp
シカゴ日経先物	16,865	155.00	為替市況	独10年債	-0.0910	▲0.8bp
ロンドンFT	6,820.79	▲17.26		英10年債	0.6380	7.4bp
DAX	10,657.64	113.20		豪10年債	1.8370	▲4.2bp
ハンセン指数	23,016.11	194.77		USD/CNH	6.6940	0.0043
上海総合	3,074.68	4.65		ドルインデックス	96.06	0.48
USDJPY 3M Vol	13.06	0.08%	商品市況	CRB指数	182.823	▲1.61
USDJPY 6M Vol	12.32	0.02%		NY金	1,316.500	▲10.60
EURJPY 3M Vol	11.51	▲0.17%		WTI	46.350	▲0.63
EURJPY 6M Vol	11.30	▲0.16%		Dubai Spot	46.48	0.48

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月30日	10:30	豪 住宅建設許可件数(前月比/前年比)	7月 11.3%/3.1%	1.1%/-8.3%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	8月 -8.5	-8.5
	19:30	米 フィッシャーFRB副議長、インタビュー	-	-
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	8月 0.0%/0.4%	0.1%/0.5%
	23:00	米 消費者信頼感指数	8月 101.1	97.0

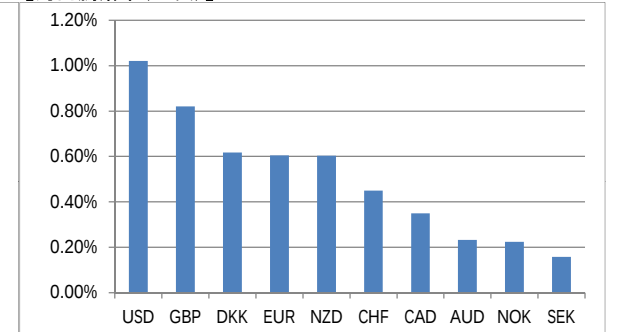
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月31日	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	7月 0.8%	2.3%
	16:15	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁発言	-	-
	16:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	18:00	欧 消費者物価指数(HICPコア)・速報値(前年比)	8月 0.9%	0.9%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.1%
	21:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 175K	179K
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	8月 54.0	55.8
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 0.7%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.60-103.40	1.1100-1.1200	114.00-115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は堅調に推移した。フィッシャーFRB副議長がインタビューで“米労働市場が完全雇用に近い”と示したものの、ドル円の上げ幅は限定的となったが、米8月消費者信頼感指数が市場予想を大きく上回ると、103.14円まで上昇した。本日は底堅い展開を予想する。FRBによる早期利上げ観測がくすぶる中、今週末発表される8月雇用統計の結果に注目が集まっている。本日は月末日で、輸出企業によるドル売りに下押しされる場面も想定されるが、押し目買いに下値も限定的となろう。

東京	東京時間のドル円は101.84レベルでオープン。この日は五・十日に当たることもあり実需勢によるドル買い期待等からじり高推移となり102.25まで上昇。しかし、目立った新規材料のない中、前日高値(102.39)を上抜けるほどの力強い上昇とはならず、その後は102円台前半での動きに乏しい展開が続いた。午後に入り、菅官房長官の「常に為替には最大の関心、その時々によって必要なことを行う」との発言が報じられたが相場の反応は限定的。結局、102.30レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.30レベルでオープン。浜田内閣官房参与が「為替介入が難しい場合は日銀による外債購入も選択肢」と発言したこと等から102.43まで上昇するも、米フィッシャーFRB副議長が、米労働市場が完全雇用に近い「極めて近い」と示す一方、マイナス金利の有用性も強調し、効率的発言を期待する向きが肩すかしを食らうと、102.17まで反落。102.33レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3071レベルでオープン。英7月住宅ローン承認件数が6万912件(市場予想:6万1900件)に減少したことで、1.3065まで小緩むも、反応は限定的。ポンドショート調整フローや、フィッシャーFRB副議長発言を背景に、1.3117まで上昇し、1.3103レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円相場は102.33レベルでNYオープン。早朝にフィッシャーFRB副議長がインタビューで「(利上げは)一回で終わるとは言えない」と利上げに前向きな発言があったが、直後の値動きは限定的。朝方発表された米8月消費者信頼感指数が101.1と市場予想(97.0)を大きく上回ると、ドル買いが優勢となり102.96まで上昇。株式市場、米長期利回りがマイナス圏での推移となる中、月末のドル転フロー等、ドル買い需要もあったことから103円台を抜けると一時103.14まで上昇。その後は2日(金)に発表される米8月雇用統計次第では9月FOMC会合での利上げもあり得るとの見方もあり、ドル円は103.00付近での底堅い推移となり、103.04レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは上値の重い推移から1.1164レベルでNYオープン。強い米8月消費者信頼感指数や米利上げ期待感の高まりからドル買いが先行し1.1132まで下落し、1.1144レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・森谷